

上下水道局

# 上水道課

課長 藤牧 靖次

事務事業評価票

事務事業名	水質検査事業
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	水道事業会計
予算中事業名	水質検査事業

部局名	上下水道局	課名	上水道課	課CD	11400000
-----	-------	----	------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	335	水道水の安定供給
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	4	防災・SDGs
主な取組み	○	二酸化炭素排出の削減、強靱なまちづくり
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

市民の生活基盤を守り、安全・安心でおいしい水を安定供給するため、水質検査体制の充実・強化により、検査精度の向上と信頼性の確保を図ること。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 法定検査・臨時検査等  
安全で良質な水道水を安定供給するため、法令・指針等で定められた水質検査を計画に基づき実施するとともに、検査の精度と信頼性を確保します。
- 取組み・実績
  - 水質基準全51項目の水質検査を直営で計画に基づき実施。  
法令で定められている基準に適合していることを確認。  
・毎日検査 39カ所において1日1回(色、濁り、消毒の残留効果)  
・給水栓水水質検査 36カ所において年1～12回  
(水質基準51項目、水質管理目標設定項目等)  
・原水水質検査 39カ所において年1～12回  
(水質基準51項目、クリプトスポリジウム等)
  - 臨時検査や給水開始前検査など、水源の水質悪化や水道施設の改良工事等に伴う必要な水質検査を実施し、水道水の安全性を確認。

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止  
 ・今後も水道水質基準全51項目を直営検査で継続し、水質検査の精度と信頼性を恒久的に確保・維持する。  
 ・将来的な広域化、他事業体との連携という課題を視野に入れ、適正な施設規模と人員を備えた水質検査体制を検討・構築する。  
 ・直営で水質検査を実施するメリットを活かし、危機管理体制の強化と水道水のPRIに繋げる。

<指標の達成状況>

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	水道水質基準直営検査項目数				
指標の設定理由	水道法に基づき、水質基準適合状況を迅速に確認できる体制を示す指標				
目標値	47	47	51	51	51
実績値	47	47	51	51	51
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	7,059		7,675		3,156		3,229		2,702	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,059		7,675		3,156		3,229		2,702	
② 人件費(千円)	25,920	人工	25,920	人工	28,770	人工	28,760	人工	28,530	人工
正規	23,070	3	23,070	3	23,070	3	22,800	3	22,470	3
非常勤(フルタイム、パートタイム)	2,850	1	2,850	1	5,700	2	5,960	2	6,060	2
合計コスト①+②	32,979		33,595		31,926		31,989		31,232	
前年度比	—		101.9%		95.0%		100.2%		97.6%	

事務事業評価票

事務事業名	水道施設耐震化事業
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	水道事業会計
予算中事業名	水道施設耐震化事業

部局名	上下水道局	課名	上水道課	課CD	11400000
-----	-------	----	------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	335	水道水の安定供給		5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	H25~R12
--------	---------

大規模地震が発生した場合に備え、水道施設への被害を最小限に抑えるとともに、被災時に水道水が早期に供給できるよう、市街地の主要な水道施設について耐震化整備を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

水道施設耐震化事業(松本地区)

- 基幹施設耐震化(水源地・配水地)  
自己水源施設2カ所、配水地等15カ所の耐震化(島内第1、第2水源城山、蟻ヶ崎、並柳第1、第2、藤井、寿、茶臼、岡田第2配水地、藤井減圧槽、神林、大久保、今井第1、第2、松原、妙義)
- 基幹管路耐震化  
配水本管及び重要送水管 L=7.0km
- 令和元年度実績  
(1) 並柳第2配水地、藤井配水地の耐震補強(5/17施設)  
(2) 中心市街地の配水本管 L=506m(旭、北深志、宮淵、新橋)  
3,209m/6,962m
- 令和2年度実績  
(1) 茶臼山配水地、岡田第2配水地、藤井減圧槽の耐震補強(R2~R3)  
(2) 中心市街地の配水本管 L=939m(旭、北深志、宮淵、本庄)  
4,148m/6,973m
- 松本市全体の耐震化率(令和2年度末現在)  
(1) 配水池(容量) 46.9%(39,100m<sup>3</sup>/83,285m<sup>3</sup>)  
(2) 基幹管路 39.2%(63,356m/161,586m)

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・**継続**・縮小・廃止

災害に強い水道施設の整備を進めるため、既存施設の耐震性を調査し、効率的かつ経済性を考慮した耐震化、延命化を進める。

<指標の達成状況>		総合評価		A	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業進捗率(耐震済配水池容量)(%)				
指標の設定理由	主要配水地の耐震化状況が確認できる指標のため				
目標値	17.6	17.6	17.6	29.4	29.4
実績値	17.6	17.6	17.6	29.4	29.4
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
② 成果指標(指標名)	事業進捗率(延長)(%)				
指標の設定理由	基幹管路の耐震化状況が確認できる指標のため				
目標値	17.8	26.3	38.6	46.2	59.2
実績値	17.8	26.3	38.6	46.1	59.5
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	99.8%	100.5%

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	779,680	190,586	526,509	445,669	690,450
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	779,680	190,586	526,509	445,669	690,450
② 人件費(千円)	46,140	30,760	38,450	38,450	38,450
正規	46,140	6	30,760	5	38,450
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	825,820	221,346	564,959	484,119	728,900
前年度比	-	26.8%	255.2%	85.7%	150.6%

事務事業評価票

事務事業名	老朽給水管取替事業
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	水道事業
予算中事業名	老朽給水管取替事業

部局名	上下水道局	課名	上水道課	課CD	11400000
-----	-------	----	------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	335	水道水の安定供給
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
市長公約	主な取組み
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度 H20 ~ R28

安全・安心でおいしい水を安定供給するため、老朽給水管を計画的に更新する。  
また、老朽給水管の漏水を防止し、水道水を有効利用する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

老朽給水管取替事業

- 漏水調査に基づき漏水量の多い配水区を中心に、平成20年度から給水管約40,800栓の取り替えを行う。
- 令和元年度までの実績
  - (1) 直営 64栓 (平成29年度から)
  - (2) 業務委託 6,765栓
  - (3) 工事 515栓
  - (4) 他事業関連 2,768栓
  - 取替合計 10,112栓
- 令和2年度実績
  - (1) 直営 47栓
  - (2) 業務委託 894栓
  - (3) 工事 70栓
  - (4) 他事業関連 98栓
  - 取替合計 1,109栓
- 全体の取替率  
27.5%(11,221栓/40,845栓)

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止  
取替えには、多額の費用と期間を要すが、経営状況を見極めながら計画的に進める。  
平成30年度から、事業の進捗を図るため、委託費を増額し、直営工事とあわせ老朽管の解消に努めている。

総合評価 A

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	老朽給水管取替事業				
指標の設定理由	漏水の可能性のある老朽給水管を取り替えるもの				
目標値	900	1000	1000	1000	1000
実績値	816	1042	1310	1026	1106
達成度	90.7%	104.2%	131.0%	102.6%	110.6%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	119,988		149,904		179,820		178,030		199,760	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	119,988		149,904		179,820		178,030		199,760	
② 人件費(千円)	15,380	人工	15,180	人工	15,100	人工	15,200	人工	14,980	人工
正規	15,380	2	15,180	2	15,100	2	15,200	2	14,980	2
会計年度任用(フルタイム、パートタイム・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	135,368		165,084		194,920		193,230		214,740	
前年度比	—		122.0%		118.1%		99.1%		111.1%	

事務事業評価票

部局名	上下水道局	課名	上水道課	課CD	11400000
-----	-------	----	------	-----	----------

事務事業名	老朽配水管改良事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	335	水道水の安定供給	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	水道事業会計
予算中事業名	老朽配水管改良工事

<事業の狙い>

事業計画年度

H28~R10

安心して飲める安全な水を確保するため、中心市街地に残る老朽化した配水管を計画的に更新するもの

総合評価

B

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	老朽配水管(普通铸铁管CIP)の全体延長				
指標の設定理由	耐震化事業等と平行して行うことから、本事業のみの目標値は定められな				
目標値(m)					
実績値	42,571	43,060	43,582	44,420	45,369
達成度	72.2%	73.0%	73.9%	75.3%	76.9%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

老朽配水管改良事業

1 事業概要

老朽配水管(普通铸铁管:CIP)の改良工事をH28から耐震化事業などの他事業と並行し実施します。

2 令和元年度事業実績

- (1) 中心市街地等の老朽配水管改良 L=380m(女鳥羽川、村井駅北)
- (2) 実施設計業務委託(開智3丁目)L=800m

3 令和2年度事業実績

- (1) 中心市街地の老朽配水管改良 L=731m(女鳥羽川、本庄)
- (2) 実施設計業務委託(安原、本庄・深志)L=2,750m

4 普通铸铁管取替率(令和2年度末現在)

76.9%(45,369m/59,000m)

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	56,840		14,796		111,705		178,709		89,960	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	56,840		14,796		111,705		178,709		89,960	
② 人件費(千円)	7,690	人工	7,690	人工	23,070	人工	15,380	人工	14,980	人工
正規	7,690	1	7,690	1	23,070	3	15,380	2	14,980	2
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0		0		0				0	
合計コスト①+②	64,530		22,486		134,775		194,089		104,940	
前年度比	—		34.8%		599.4%		144.0%		54.1%	

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・**継続**・縮小・廃止

住宅や商店が多数混在し、交通量の多い路線での工事となるため、広報活動等で沿線住民への周知を行い、他の道路占用者と協議を行いながら、計画的に改良工事を行う。

# 下水道課

課長 岩田 公晴

事務事業評価票

事務事業名	下水道処理場長寿命化事業
-------	--------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	下水道事業会計
予算中事業名	国庫補助改良事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H24～
老朽化した設備の改築・更新を計画的に実施し、ライフラインを確保するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 スtockマネジメント計画 R2より国の支援制度が従来の長寿命化計画からストックマネジメント計画に移行したため、全体事業費の見直しおよび財政計画の平準化を図り事業を実施する。
2 事業実施内容 宮渚浄化センター改築事業 ・ 自家発電設備建屋新設工事 ・ 低段2系最初・最終沈殿池改築工事 ・ 自家発電設備及び低段3,4系中央監視設備改築工事 ・ 汚泥処理施設改築基本設計業務委託

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・廃止 ・ 老朽化した施設の改築更新は喫緊の課題であるが、経営状況から優先順位を決めて効率的に計画を実施している。

部局名	上下水道局	課名	下水道課	課CD	11450000
-----	-------	----	------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	環境負荷軽減に取り組むまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	336	下水道の適正な維持管理	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	宮渚浄化センター改築事業費進捗率				
指標の設定理由	機械設備の改築のため事業費ベースの指標が適切なため				
目標値	35.7%	36.2%	38.5%	42.7%	50.5%
実績値	35.7%	36.2%	37.3%	40.7%	45.9%
達成度	100.0%	100.0%	96.9%	95.3%	90.9%
② 成果指標(指標名)	両島浄化センター改築事業費進捗率				
指標の設定理由	機械設備の改築のため事業費ベースの指標が適切なため				
目標値	3.9%	14.7%	28.3%	29.4%	29.6%
実績値	3.9%	14.7%	20.7%	29.8%	29.8%
達成度	100.0%	100.0%	73.1%	101.5%	100.8%

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	国・県	157,450	270,000	200,042	362,402	240,455
	利用者負担金					
	その他	115,700	229,100	138,000	260,100	174,200
	一般財源	17,700	23,280	30,422	69,412	23,235
② 人件費(千円)	正規	12,304	12,144	16,610	16,720	16,478
	会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	303,154	534,524	385,074	708,634	454,368	
前年度比	—	176.3%	72.0%	184.0%	64.1%	



事務事業評価票

事務事業名	下水道総合地震対策事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	下水道事業会計
予算中事業名	国庫補助・単独改良事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	H20～
地震災害時に施設の被害を抑制し、ライフラインを確保するもの	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 計画策定  
R1に策定した第3期松本市下水道総合地震対策計画(R2～R6)に基づきR2から実施
- 管渠  
管渠耐震化、マンホールの改築、接続部の可とう化、浮上防止対策を実施
- 浄化センター
  - 宮渚浄化センター
    - 低段1,2系最初沈殿池耐震化工事
    - 低段第2ポンプ棟・ボイラー棟・消化槽耐震診断業務委託
    - 2-1、2及び第5消化槽耐震診断業務委託
    - 汚泥棟耐震設計着手
  - 両島浄化センター
    - 水処理・算盤型消化槽耐震診断業務委託
    - 波田浄化センター
    - 汚泥棟・沈砂池ポンプ棟耐震診断業務委託
  - 上高地浄化センター
    - 水処理施設耐震診断業務委託

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・廃止

- 老朽施設の改築更新を優先するが、あわせて耐震工事も実施していく。
- 下水道総合地震対策計画に基づき管渠の耐震工事を着実に実施していく。

部局名	上下水道局	課名	下水道課	課CD	11450000
-----	-------	----	------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	環境負荷軽減に取り組むまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	336	下水道の適正な維持管理	5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり	
—	—	—	松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり	

<指標の達成状況>

区分	総合評価				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	管渠施設の耐震化(整備延長37.1km)				
指標の設定理由	下水道総合地震対策計画によるもの(累計数値)				
目標値	4.8	4.9	5.5	6.2	7.3
実績値	4.8	5.3	5.5	5.7	6.0
達成度	100.0%	108.2%	100.0%	91.9%	82.2%
② 成果指標(指標名)	浄化センター耐震化(総延床面積75,721㎡)				
指標の設定理由	下水道総合地震対策計画によるもの(累計数値)				
目標値	6,775	6,775	7,937	10,660	10,660
実績値	6,775	6,775	7,448	7,937	7,937
達成度	100.0%	100.0%	93.8%	74.5%	74.5%

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	141,390	94,380	48,100	251,523	537,880					
国・県	70,600	47,190	24,340	101,394	244,305					
利用者負担金										
その他	63,600	42,326	21,400	119,084	177,296					
一般財源	7,190	4,864	2,360	31,045	116,279					
② 人件費(千円)	8459	人工	8459	人工	12835	人工	12,920	人工	12733	人工
正規	8,459	1.1	8459	1.1	12835	1.7	12920	1.7	12733	1.7
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	149,849	102,839	60,935	264,443	550,613					
前年度比	—	68.6%	59.3%	434.0%	208.2%					

事務事業評価票

事務事業名	管渠長寿命化事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	下水道事業会計
予算中事業名	国庫補助・単独改良事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	H21～
老朽化した管渠を計画的に改築するもの	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 計画策定	R1に松本市下水道ストックマネジメント(R2～R6)を策定
2 事業実施内容	管渠改築、マンホールポンプ場改築

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・廃止

・ストックマネジメント計画に基づき、優先順位を決めて効率的に管渠の改築を実施していく。

部局名	上下水道局	課名	下水道課	課CD	11450000
-----	-------	----	------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつながるまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	336	下水道の適正な維持管理	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

<指標の達成状況>

		総合評価		A	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	改築工事延長(km)				
指標の設定理由	長寿命化計画によるもの(累計数値)				
目標値	14.0	16.1	17.5	19.0	21.0
実績値	13.1	15.8	17.4	19.0	21.0
達成度	93.6%	98.1%	99.4%	100.0%	100.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	71,960	314,725	481,175	193,236	465,784
国・県	35,980	157,362	210,123	67,960	152,875
利用者負担金					
その他	32,300	141,365	243,946	115,614	281,618
一般財源	3,680	15,998	27,106	9,662	31,291
② 人件費(千円)	7,690	7,590	12,080	12,160	11,984
正規	7,690	7,590	12,080	12,160	11,984
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	79,650	322,315	493,255	205,396	477,768
前年度比	—	404.7%	153.0%	41.6%	232.6%

事務事業評価票

事務事業名	水質監視業務
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	下水道事業会計
予算中事業名	水質規制費

部局名	上下水道局	課名	下水道課	課CD	11450000
-----	-------	----	------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	4 防災・SDGs
政策の方向(まちの姿)	3	環境負荷軽減に取り組むまち		主な取組み	〇 二酸化炭素排出の削減、強靱なまちづくり
基本施策(個別目標)	336	下水道の適正な維持管理		5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

下水道施設の適正な維持管理及び浄化センターからの良好な放流水の水質維持を目的として、下水道における適切な水質管理を行うため、水質監視を実施するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 事業場排水の水質監視  
事業場下水排水を下水道排除基準に適合させるための、監視と指導  
【令和2年度実績】  
延べ検査項目数 959 項目 うち延べ違反項目数 14 項目  
延べ立入検査件数 132 件
- 主要幹線の水質監視  
継続して主要幹線の水質を監視  
異常が確認された場合、排出源特定のための調査と排出源への指導  
また、浄化センターの水処理、汚泥処理の対策検討  
【令和2年度実績】  
幹線水質検査 12 回
- 浄化センターの水質管理  
日常の水質検査結果を受けた、水処理、汚泥処理等運転管理の検討

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充 (継続・縮小・廃止)

事業場からの下水道排除基準に対する水質検査結果について、令和2年度は、延べ検査項目数959に対し違反項目数は14であり、前年度の適合率98.1%との比較ではわずかに向上がみられた。今後も引き続き監視を継続していくとともに、事業場における下水道排除基準に対する意識を向上させるための啓発活動をしていく必要がある。  
また、主要幹線水質検査による異常値の原因を追及するための体制は強化されつつあり、今後も更に充実した体制づくりが必要となる。

<指標の達成状況>

		総合評価		A	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	排除基準適合率(%)				
指標の設定理由	事業場における適正な排除基準の確保				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	98.3	99.0	99.1	98.1	98.5
達成度	98.3%	99.0%	99.1%	98.1%	98.5%
② 成果指標(指標名)	幹線水質検査(回/年)				
指標の設定理由	処理場流入水の良好な水質を確保するため				
目標値	12	12	12	12	12
実績値	12	12	12	12	12
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	21,650	21,384	21,640	20,944	21,954
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	21,650	21,384	21,640	20,944	21,954
② 人件費(千円)	41,300	人工 40,840	人工 40,700	人工 40,980	人工 40,480
正規	38,450	5 37,950	5 37,750	5 38,000	5 37,450
会計年度任用(アルバイト、パート等1・2類)	2,850	1 2,890	1 2,950	1 2,980	1 3,030
合計コスト①+②	62,950	62,224	62,340	61,924	62,434
前年度比	—	98.8%	100.2%	99.3%	100.8%